

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	経済・経営の現場を知る2 (Current Business Topics 2)					担当教員	生島 義英 (イクシマ ヨシヒデ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目／知識定着・確認 型AL
	2013-0-11-041	教養科目	必修	2単位	1年次	前期		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目／知識定着・確認 型AL
	2413-0-11-039	教養科目	必修	2単位	1年次	前期		

① 授業のねらい・概要					
流通業は、私たちの生活と密接不可分な極めて身近な存在である。本授業では対象を流通業に絞り、経営やビジネスに関する最新のトピックスや考え方・捉え方を解説するとともに、流通業の仕組みや運営方法の基本を学修する。また、新潟県・長岡市の小売業を中心とした現状や今後の方向性等および現場業務について取り上げ、流通業を理解していく。					
② ディプロマ・ポリシーとの関連					
地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力					
③ 授業の進め方・指示事項					
<p>【授業の進め方】</p> <p>①前回授業の振り返り</p> <p>②該当範囲の授業</p> <p>授業終了後、「振り返りレポート」の作成、「振り返りレポート」は、授業で習得した知識を簡潔にまとめることにより知識の定着を図る。</p> <p>【指示事項】</p> <p>授業範囲の教科書該当ページを事前に読み込み、わからないことを事前に把握する。 グーグルクラスルームを使用するので、使用方法を把握する。 教科書は、必ず購入する。 授業範囲の教科書該当ページを事前に読み込み、わからないことを事前に把握する。</p>					
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能					
経済・経営の現場を知る1, 経営学, 流通論入門					
⑤ テキスト(教科書) ※授業で使用する。					
鈴木邦成(2017), 『トコトンやさしい小売・流通の本』, 日刊工業新聞社 必要に応じてレジュメ、関連資料を配布する。					
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。					
小林隆一(2016), 『流通の基本(第5版)』, 日本経済新聞出版社 岸本哲也・菊池和位(2024), 体系小売マネジメント, 中央経済社					
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)					
履修者になるべく理解しやすいように画像や図表などを多く授業を行う。 実務者の講演を取り入れる。					
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安					
(1) 独力で流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができる。 (2) 独力で流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができる。 (3) 独力で新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができる。					
⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1) 流通業に関する基礎知識	流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができる。授業内容を越えた学修成果を示している。	独力で流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができる	資料などを参照し、流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができる	教員等の支援を受けて、流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができる	流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができない。
(2) 流通業の現状と課題の知識	流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができ、授業内容を越えた学修成果を示している。	独力で流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができる。	資料などを参照し、流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができる。	教員等の支援を受けて、流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができる。	流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができない。

(3)	新潟県、長岡市の流通業発展経緯の知識	新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができ、授業内容を超えた学修成果を示している。	独力で新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができる。	資料などを参照し、新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができる。	教員等の支援を受けて、新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができる。	新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができない。
-----	--------------------	---	--------------------------------------	--	--	------------------------------------

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法

学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計
総合評価割合	85%				15%		100%
(1)流通業に関する基礎知識	35%				5%		40%
(2)流通業の現状と課題の知識	30%				5%		35%
(3)新潟県、長岡市の流通業発展経緯の知識	20%				5%		25%
評価項目「その他」詳細							
フィードバックの方法	授業冒頭に前回授業内容サマリーをフィードバックして知識の定着を図る。授業後振り返りレポートを作成し、次回授業時にフィードバックする。						

⑪ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	流通の基本① 流通とは、流通の基本的な機能など	授業前に教科書の該当部分の予習 授業後振り返りのまとめ	120分
2	流通の基本② 売買取引の仕組み、まちづくり3法など	授業前に教科書の該当部分の予習、売買取引・まちづくり3法に関する関連情報の整理、復習	120分
3	小売業の仕組み① 小売業とは、業種・業態とは、百貨店	授業前に教科書の該当部分の予習、小売業とは、業種・業態とは、百貨店に関する関連情報の整理、復習	120分
4	小売業の仕組み② スーパーマーケット、コンビニエンスストア	授業前に教科書の該当部分の予習、スーパーマーケット、コンビニエンスストアに関する関連情報の整理、復習	120分
5	小売業の仕組み③ SPA、セレクトショップ、ディスカウントストア	授業前に教科書の該当部分の予習、SPA、セレクトショップ、ディスカウントストアに関する関連情報の整理、復習	120分
6	小売業の仕組み④ 外部講師による長岡市食品スーパー発展経緯	授業前に教科書の該当部分の予習、長岡市食品スーパーに関する関連情報の整理、復習	120分
7	卸売業の仕組み① 卸売・問屋の機能、卸売業の区分	授業前に教科書の該当部分の予習、卸売・問屋に関する関連情報の整理、復習	120分
8	小売業のマーケティング① 商業集積、商圏の分析（ハフモデル）、立地条件	授業前に教科書の該当部分の予習、商業集積、商圏の分析に関する関連情報の整理、復習	120分
9	ストアオペレーション① ストアオペレーション、マーチャライジング	授業前に教科書の該当部分の予習、ストアオペレーションに関する関連情報の整理、復習	120分
10	ストアオペレーション② 仕入計画、発注、POS、流通システムなど	授業前に教科書の該当部分の予習、仕入計画、発注、流通システムに関する関連情報の整理、復習	120分
11	物流① 物流とは、食品物流、アパレル物流など	授業前に教科書の該当部分の予習、食品物流、アパレル物流に関する関連情報の整理、復習	120分
12	物流② 外部講師による物流業務の紹介	授業前に教科書の該当部分の予習、講演内容に関する関連情報の整理、復習	120分
13	物流③ ネット通販（eコマース）	授業前に教科書の該当部分の予習、ネット通販に関する関連情報の整理、復習	120分
14	小売業の販売管理	授業前に教科書の該当部分の予習、販売管理に関する関連情報の整理、復習	120分
15	これからの流通・課題 全体のまとめ	授業前に教科書の該当部分の予習、流通課題に関する関連情報の整理、復習	120分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認方ALを行う。授業中に問いかけを行うことにより考える時間をとり、その内容を発表し理解を深める。毎回授業後に振り返りレポートを作成する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要

昭和 63 年（1988 年）4 月から平成 31 年（2019 年）3 月まで 31 年間民間企業に在籍し、在籍期間中は情報システム部門において流通業・鉄道業のシステム設計と運用など、物流管理部門において小売業物流の仕組みの構築と運用改善・物流教育・運用など、人事労務管理部門において制度設計や法令変更対応、組合との交渉など、総務部門において株主総会・取締役会の事務局運営やコンプライアンス・CSR などの業務に従事した。実務担当者、管理職、企業の取締役の経験など様々なマネジメント業務に携った。

実務経験と授業科目との関連性

流通業において、担当者としての実務経験や部門長として管理職経験、役員経験を活かし、実務経験がなく、実務を想像しにくい学生に対して、より実務的、具体的にビジネスの業務運営，課題解決，業務構築などの一連のプロセスを教授することができる。現場で発生している問題など具体的な事例をもとに、課題解決策の策定などについて、興味深く説明することができる。